

機械器具 36 医療用ピンセット
一般医療機器 ピンセット 35079001

平 セッシ

【形状・構造及び原理等】

＜構造図(代表図)＞

物体を把持する二つの面は、把持したカテーテルにキズがつかないよう平らになっており、ハンドルは永久的に結合している。



材質：ステンレス鋼(ニッケル・クロム含有)

【使用目的又は効果】

保持する物体を閉じて挟む2枚の刃をもつ手術器具をいう。

【使用方法等】

- 1) 使用する前に本品が洗浄・滅菌されていることを確認する。また、傷や曲がり、破損、腐食の異常等がない事を確認する。
- 2) 親指と人差し指等でハンドル部を把持する。
- 3) 力(応力)を加減することにより先端部が開閉し、カテーテルを把持する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- 1) 塩素系やヨウ素系の消毒剤が付着したときは、直ちに水洗いをする事。
[腐食の原因になる。]
- 2) 本品に長時間血液等を付着させたまま放置しないこと。また、生理食塩水に浸さないこと。
[腐食の原因になる。]
- 3) 本品に電気手術機器を直接接触させて使用しないこと。
[感電、火傷、本品の損傷の原因になる。]
- 4) 苛性ソーダ、ホルマリン、グルタルアルデヒド、ブリーチを含む洗浄液、強アルカリ又は強酸性洗剤は使用しないこと。
[腐食等の原因になる。]
- 5) クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)患者又はその疑いがある患者に使用した場合は、厚生労働省発行のクロイツフェルト・ヤコブ病診察マニュアル等を参考に消毒と滅菌を行なうこと。
- 6) 本品を低体重児・新生児用中心静脈注射用カテーテルの挿入以外に使用しないこと。
- 7) 使用時には必要以上の力(応力)を加えないこと。
[カテーテルにキズやピンホールが発生するおそれがある。]

【使用上の注意】

＜不具合・有害事象＞

手技に伴い、一般的な不具合や有害事象が発生する恐れがある。有害事象が発生した場合は術者の知見に基づき、適切な処置を行うこと。

- 1) その他の不具合
 - ① 本品破損
- 2) 重大な有害事象
 - ① 感染
- 3) その他の有害事象
 - ① アレルギー反応

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれ、高温多湿を避け保管すること。

＜耐用期間＞

本品は金属製であるため、繰り返し使用による金属疲労により、ハンドルが破損するおそれがある。本品に異常が認められた場合には使用しないこと。

【保守・点検に係る事項】

＜洗浄・消毒に係る事項＞

- 1) 使用後は、できるだけ早く血液、体液、組織等の付着物を除去し、感染防止のために洗浄・消毒すること。
- 2) 洗浄剤や消毒剤は、その方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用する事。
- 3) 強アルカリ性／強酸性の洗浄剤や消毒剤の使用は避けること。
[腐食の原因になる。]
- 4) 金属たわし、クレンザー(磨き粉)等は使用しないこと。
[表面が損傷する。]
- 5) 洗浄装置(超音波洗浄装置、ウォッシュャーディスインフェクタ等)で洗浄する場合は、他の器具等に接触して損傷することがないように注意すること。
- 6) 洗浄剤や消毒剤が残留しないよう十分にすすぎをすること。仕上げすすぎには、浄化水(濾過、蒸留、脱イオン化等)を用いることを推奨する。
[腐食やサビの原因になる。]
- 7) 洗浄後は腐食防止のため、直ちに乾燥させること。

＜滅菌に係る事項＞

- 1) 滅菌前に本品が洗浄・消毒されているか、また乾燥しているか必ず確認すること。
[滅菌不良が発生する可能性がある。]
- 2) 滅菌方法は高圧蒸気滅菌(各医療機関の滅菌基準による)を推奨する。
- 3) 滅菌のための包装をする際は、本品が確実に滅菌できるように配慮すること。

＜点検に係る事項＞

- 1) 使用前や滅菌前に以下の項目を点検すること。
 - ① 本品に汚れ、キズ、変形、サビ等の外観上(特に把持面)の異常がないか確認すること。
 - ② 先端が開いた状態のときに十分な間隔があるか、また閉じた状態のときに先端が噛み合うか確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

株式会社八光
TEL 026-275-0121

＜製造業者＞

株式会社八光

販売窓口：

東京都文京区本郷三丁目 42-6
TEL 03-5804-8500